

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 7 月 29 日 更新

事務事業名		学校給食運営事業		☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☒ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	末永 舞
	施策	9	義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名	高岡英之、吉岡敏夫、坂本香織
	施策の柱	35	食育の推進	所属班	学校給食班	(内線)	(外線) 248-2102
予算科目		会計一般	款 10	項 6	目 3	事業連番 10683	根拠法令 学校給食法
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始		事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	給食センターの施設・設備・配送車等のメンテナンス、調理に必要な消耗品の購入、光熱水費の支払い、非常勤調理員の雇用及び健康管理等を適切に行い、合志小、合志南小、南ヶ丘小、合志中の児童生徒、約2,700人に栄養バランスの取れた、温かい学校給食を年間約190回前後提供した。 合志楓の森小学校・合志楓の森中学校の自校方式の給食施設の運営について、業務の一部について民間委託しており、その業務の管理事務を行った。 令和4年度以降も学校給食に関する施策を効果的に推進するために、また、引き続き安心して安全に安定的においしい学校給食を提供し続けるにあたり、将来にわたる学校給食の在り方等について検討するため、「合志市学校給食施設及び運営検討委員会」を立上げ、将来のあり方について検討を行い、令和5年1月26日に検討内容報告書により、市長に報告し事業を進めている。
【業務の流れ】	毎月(8月除く)の給食委員会において、4校の給食担当職員・PTA役員と各月の献立の検討を行い、給食センター運営委員会においては給食費執行状況の監査等を行う。調理体制について、給食センターでは正規職員5人、会計年度任用職員約30人で約2,700食の調理を行う。自校方式の施設については、各小中学校の学校運営の中で学校給食を提供していく。
【主な予算費目】	給与(R2~給料、職員手当等) 光熱水費 消耗品費 役務費 委託料 補助金 合志楓の森小・中学校給食施設運営事務(委託料)、西合志地域の学校給食施設の更新関係予算(設計費、用地費、工事請負費)
【意見や要望】	令和5年3月および12月の市議会一般質問でのやりとりあり。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
児童・生徒の心身の健全な発達に資するとともに、食育を推進するために安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食の提供を行った。令和3年4月の開校時から合志楓の森小・中学校の自校方式の給食施設の運営について、業務の一部について民間委託を行っている。西合志地域の自校方式の給食施設について、センター方式での施設更新の方針を決定した。その施設更新に関する基本設計業務を委託し、事業を進めている。また、自校方式施設のうち、西合志中央小について、近年の児童数増による現在食数に対し、調理スペースが不足するため、自炊・委託炊飯に変更することにより、滞りなく給食を提供することができた。センター方式施設の合志給食センターについては、給食調理員の不足の影響を最小限にするべく、メニューの見直しやカット野菜(加工品)のやりくりにより、滞りなく給食を提供することができた。		安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食が提供できるよう、施設設備の維持管理や衛生管理、調理職員の健康管理等を適切に行う。引き続き、給食調理員の人員不足の解消に向けての対策を行う。 合志楓の森小・中学校の自校方式の給食施設の運営について、業務の一部について民間委託をしており、その業務の管理を行う。学校給食に関する施策を効果的に推進するために、また、引き続き安全で安心しておいしい学校給食を安定的に届けていくために、「合志市学校給食施設及び運営検討委員会」の検討内容報告書を基本に、事業を進めていく。 用地取得を進めていく。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由	
→ ア: 機械修繕件数	件	(仮称) 西合志地域学校給食センターの建設に向けた関連予算について、用地関係の委託料、公有財産購入費の増	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
児童・生徒		→ ア: 調理食数	食
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
安全で衛生的な給食を食べることが出来る		→ ア: 調理に支障をきたした件数	件
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
安全で衛生的な給食の提供を目標とし、その目標に支障をきたした件数を0とすることを成果指標とした。			0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア イ	件	9	12	10	8	10	10	10	10	
② 対象指標	ア イ	食	2,611	2,631	2,650	2,652	2,650	2,660	2,660	2,670	
③ 成果指標	ア イ	件	0	0	0	0	0	0	0	0	
投 入 費 量	業 務 内 訳	国庫支出金	千円					355,719			
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円					45,000	1,676,500		
		その他	千円	1	1	2,216	6	2,222	2,216	2,216	2,216
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	174,529	224,787	217,253	255,669	295,202	788,527	237,227	402,383
	(A) 事業費計	千円	174,530	224,788	219,469	255,675	342,424	2,822,962	239,443	404,599	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人 件 費	正規職員従事人数	人	8	5	6	4	6	6	6
	延べ業務時間		時間	13,200	6,176	12,000	4,808	12,000	12,000	12,000	12,000
	(B)人件費計		千円	51,612	23,505	47,808	17,510	47,808	47,808	47,808	47,808
トータルコスト(A)+(B)		千円	226,142	248,293	267,277	273,185	390,232	2,870,770	287,251	452,407	

事務事業名	学校給食運営事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度の後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した 給食センター建設から11年経過し、調理機器等の修繕が増加している。 ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 安全安心な給食を提供するために、適切に維持管理を行う。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 現状を維持する ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 民間のお弁当デリバリー給食事業は栄養摂取基準を満たしていないおそれがある。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 維持管理上適切である。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 合志楓の森小・中学校において、調理、洗浄・清掃作業の業務について民間委託の契約を行い、運営を委託している。 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 保護者の負担は食材の実費のみである。 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 学校給食法の目的を達成するために適正である。 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

安心安全な給食の提供がスムーズにできるように、施設設備や厨房機器の維持管理を確実に行った。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							